

オンライン講座

「多文化共生」を考える研修会 2022

兵庫県には、157か国、約11万4千人の外国人県民が住んでおり、さまざまな場面で接する機会が増えています。文化や言語、生活習慣、歴史的背景の違いを認め合い、互いに尊重し合う多文化社会の実現をめざし、今回で22回目を迎える「『多文化共生』を考える研修会」を下記内容で開催します。多文化共生の魅力や課題など、見て、聞いて、一緒に考えましょう。

第1回 8月18日(木)

【総論～人道的な外国人受け入れを考える～】

13:00～13:05 主催者あいさつ

13:05～14:30 『『マイスマールランド』で伝えなかった

日本の外国人問題」

川和田 恵真(映画監督)

聞き手 山本 晃輔(関西国際大学教員)

1991年生まれ、千葉県出身。イギリス人の父親と日本人の母親を持つ。2014年に「分福」に所属し、是枝裕和監督の作品等で監督助手を務める。2018年の第23回釜山国際映画祭「ASIAN PROJECT MARKET (APM)」で、アルテ国際賞(ARTE International Prize)を受賞。また2022年、商業長編映画デビューとなる本作が第72回ベルリン国際映画祭に出品され、アムネスティ国際映画賞スペシャルメンションを授与された。

14:45～16:15

「在日クルド人コミュニティの現状」

ワッカス・チョーラク(一般社団法人 日本クルド文化協会)

第2回 8月22日(月)

【日本語教育と外国にルーツを持つ子どもの教育】

13:00～14:30 「コミュニケーションのための

『やさしい日本語』とはなにか」

イ ヨンスク(一橋大学名誉教授)

14:45～16:15

「令和3年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に

関する調査結果の概要について」

平山 大輔(文部科学省総合教育政策局国際教育課

外国人児童生徒教育専門官)

「外国人の子どもの就学実態調査結果から見える課題、

そして今、取り組むべきこと」

榎井 縁(大阪大学大学院 人間科学研究科 特任教授)

第3回 8月24日(水)

【外国人との共生に向けての課題】

13:00～14:30 「世界を揺るがすウクライナ侵攻

―何がなぜ起きたのか、いかに対応すべきか」

遠藤 乾(東京大学法学部教授)

14:45～16:15 「神戸市のウクライナ避難民受入・支援の状況」

出口 幸治(神戸市市長室国際部国際課担当課長)

第4回 8月25日(木)

【多文化を活かしたまちづくり】

13:00～14:30 「生野の在日コリアンと日本人」

谷 富夫(大阪市立大学名誉教授)

14:45～16:15 「生野コリアタウンの挑戦

～多様な人びとが互いに交差(クロス)する

豊かな土壌(ベース)～」

宋 悟(NPO法人 クロスベース代表理事)

【参加費】 無料 【申込締切】 8月11日(木)

【申込方法】 <https://forms.gle/M3EEMdvatXYk3UjQA> か QRコードにアクセスして、

お申し込みください。

※やむなく欠席の場合には、キャンセル待ちの方に回しますので、3日前までにご連絡してください。

【開催方法】

オンライン Zoom を用いて行います。当日までに、Zoom の招待状を送らせていただきます。

【申込・問い合わせ先】

NPO法人 神戸定住外国人支援センター(KFC) TEL:078-612-2402 E-mail:kensyu2022@social-b.net

1回だけでも
参加できます

各回定員60名

